

デジタルフォト・アルバム「おもいでばこ」が
日常業務にも大活躍。
スマホ・デジカメ写真を、簡単ひとまとめ化で
みんなの記憶をつなぐ。

ユアハウス弥生 様

ケアワーク弥生が運営する「ユアハウス弥生」様は、介護が必要となった認知症の方へ“通い”を中心とした介護サービスを提供する「小規模多機能型居宅介護施設」です。認知症の方が健やかに過ごすためには“思い出す”という行為が重要で、“写真”がとても大切だそうです。「おもいでばこ」を導入したことで、皆さんが気軽に日々の写真を楽しめるようになりました。



写真：ケアワーク弥生 介護部長代理 介護支援専門員 兼 ユアハウス弥生 所長 飯塚裕久 様

写真活用で“ケアの質”を一段高く

ユアハウス弥生では、スタッフが日々の生活やイベントの写真を撮影して、利用者と一緒に写真を見ながら思い出を楽しんだり、アルバムにまとめて家族へ提供したりしています。

「写真を使って記憶を呼び覚ますという行為は、強く脳を刺激します。また、介護の状況を把握するにも、利用者の日々の生活を撮影して記録することは、非常に重要な介護業務の1つです。そして写真の活用することで、一段高いケアを提供できるようになりました」と語っています。

画像データが大量で、探せない事態に

当初、撮影した写真はスタッフがパソコンで画像ファイルに1つ1つ名称を付けてNASに管理していましたが、数ヶ月後には、イベントや利用者ごとにフォルダ分けをするのが精一杯で、ファイル名はデジカメで撮影したままとなっていました。

「しっかり管理できていないので、報告書やアルバムに添付する画像を探すのも一苦労で、パソコンとNAS内には、整理が不十分なまま、写真データがどんどん溜まっていきました。」

そこで、写真データを保管しながらも、利用者やスタッフが気軽に写真を使えるようにできないかと手軽に使える安価な機器を探していました。

大量の写真を勝手に整理してくれる機器？

飯塚氏は介護業界の知人から、よい機器があると「おもいでばこ」を紹介され、「写真を記録するのも見るのも簡単で、最大12万枚という大量の写真データを自動で整理できると聞き、まずは試してみようということになりました」

ユアハウス弥生では、事務所が地階にあります。が、「おもいでばこ」は無線接続に対応しているので自由に設置でき、無線LAN親機の中継機能により何処からでもパソコンやスマートフォンから「おもいでばこ」に無線LANを介してアクセスできます。

「おもいでばこ」を設置すると、早速パソコンから写真データを移す作業にとりかかりました。写真を取り込んだり書き出したりするツール(無償)が用意されており、簡単に写真データを移行することができます。

報告書や引き継ぎ資料などのドキュメントを作成する際には、「おもいでばこ」の写真データをパソコンへ書き出していますが、日付ごとに整理されているので、使いたい写真データを簡単に探すことができます。

デジカメやスマートフォンの写真も簡単取り込み

「おもいでばこ」には、SDカードリーダーやUSB端子も搭載しており、デジカメやフィーチャーフォンで撮影した画像も、簡単に取り込むことができます。

また、iPhone/iPadやAndroidに対応したアプリ(無償)が提供され、スマートフォンから移したい写真をタッチ操作で選ぶだけで簡単に写真を取り込むことができます。

飯塚氏が特に気に入っているのが、取り込み済

みの写真をチェックする「重複検知」の機能です。

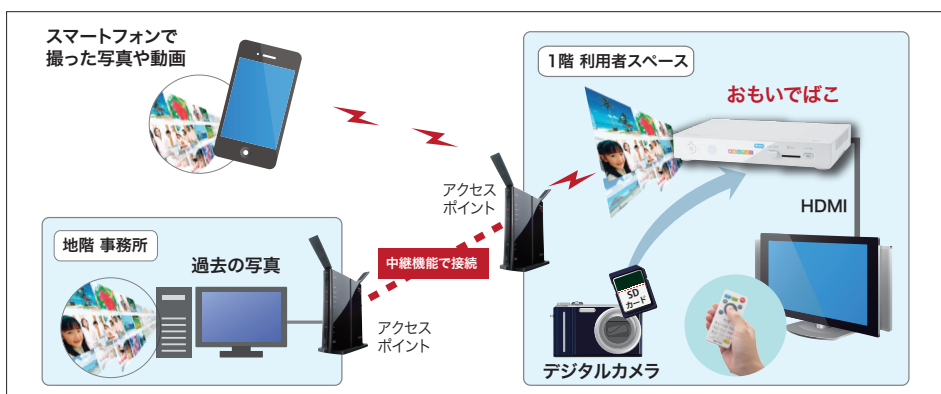
「気軽に写真を移しても、自動でチェックされるので、無駄な写真が重複して増えないのがイデですね。重要な機能だと思います」

日々の業務に「おもいでばこ」をフル活用

「おもいでばこ」は、利用者のケアだけでなく、日々の業務報告にも活用されています。撮影写真を見ながらのスタッフミーティングや月次報告書の作成にも活用しています。

「私がやりたかった“写真中心の報告書”が、「おもいでばこ」で実現できました。同じ作成時間で、ずっと質のよい書類ができます。サービスだけでなく、業務の質も向上しました」

また、飯塚氏は「私は、こうした“写真活用ケア”の仕組みを介護業界に広めたいと思っています。写真や動画で情報を共有することで、介護スタッフの教育・研修や人事にも活用できるでしょう。「おもいでばこ」は、安価なので小規模な介護施設でも導入しやすく、ITに不慣れでも手軽に使うことができる最高のツールです」との評価をいただきました。



導入製品



デジタルフォト・アルバム
「おもいでばこ」 PD-100S
omoidebako.jp/

